小須戸公民館報

発行 小須戸町中央公民館
〒956－0101
新潟県中蒲原郡小須戸町
大字小須戸117番地
TEL (0250) 38－2234
FAX (0250) 38－3041
編集 公民館報編集委員会

合併まであと1年

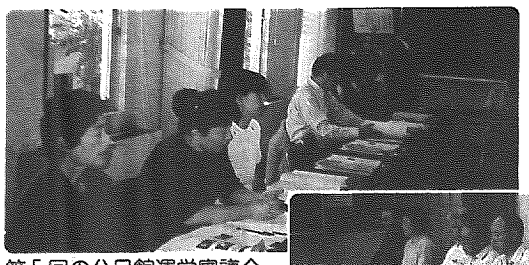
残そう！続けよう！広めよう！公運審の意見と願い

公民館運営審議会は、本年度の公民館運営方針を標題のように「残そう、続けよう、広めよう」に決めました。

昨年度から、合併を視野に入れて、これまでの足跡を振り返りながら、私たちの町の公民館の「いいとこみつけ」とそれをどのように残し、つづけ、更に伸ばしていくかを知恵と力を出し合って考えてきました。

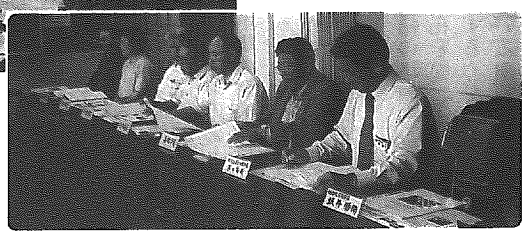
二月の第五回審議会で話し合い、更にアンケート用紙で回答してもらってまとめたものをここに紹介します。

合併までの一年、行政の強力な支援と町民各位の熱い思いに支えられながら、前進することを期待します。



第5回の公民館運営審議会

真剣な話し合いがつづく



残そう

一、「町宣言」の精神

「まごころの町宣言」の精神は、これからもずっと残していってほしい。

公民館活動全体で進めてきた「笑顔とあいさつ運動」は公民館に来てくれる大勢の人達が心がけてくれるようになってきている。

町を挙げて取り組んでいる「まごころのまちづくりフォーラム」には、公民館は一丸になって協力してきた。

事業の中では、特に「ひよこ学級」「祖父母と孫の学級」「親子チャレンジ教室」で町宣言の精神を生かしている。

公民館報で特集を組むなどまごころのまちづくりは、ずっと続けていってほしい。

二、小須戸公民館報

昭和二十四年十月発行から本号第五百九十二号まで続く小須戸公民館報は、町が誇る公民館活動の歴史を語ってくれる。合併を期に、更に親しみ深い地域の新聞として残してほしい。

こんな声があった。「小須戸公民館報は、見た目が分かりやすく、親しみやすい方言が入ったコメントが書かれたりして、文字離れしつつあるお婆さんの会でも時々話題にのぼります。公民館の活動をもっと太く、広く、細かに知ってもらうためにも、公民館ロビー、各分館、矢代田駅にも掲示したらどうでしょう」

続けよう

一、「地域」の学習

地域の伝統文化や自然についての学習を続けてほしい。若い人達から伝統文化を理解してもらいそれを受け継いでほしいと願っている。古くから伝わる行事や地域の自然に親しむ会への参加者がもっと増えるように働きかけてほしい。

ふるさとの自然に親しむ会では、田圃と山の自然、信濃川周辺の自然、大沢公園周辺の自然と全三回の講座が好評であった。

神楽、樽ばやし、ホラ貝、盆おどりなど郷土芸能の伝承についても支援してほしい。

小正月行事、地蔵講、賽の神など地域行事をこれまでのように館報で情報の発信を続けてほしい。

二、新津南高校学校開放講座

小須戸中央公民館自慢の講座、新津南高校学校開放講座は、本年第二十回目の修了証書を二十八名の受講者に手渡しました。この講座は九月から二月まで全十回、講師は校長先生はじめ、英語のジョー先生など十一名の講師団です。

「賽の神」着火前整列

実習や実験も入れてほしいとか、先生の得意な趣味のお話も聞きたいなどの受講生の希望も入れてもらって、二十一年目の講座を期待している。

広げよう

一、新しい講座への挑戦

国際化、情報化、高齢化等に伴う町民の要請に応える講座の開設とすでに開設している講座の内容の充実と受講者を増やす方策が必要である。

「ニーハオ」初めての中国講座や初心者コケ玉教室、伝えたい郷土料理教室など、是非成功させたいものである。

明るい情報の発信をより多くするために、公民館独特のインターネット上のホームページの充実を望む意見や、子どもをほめて育てるための「子ほめ表彰」を公民館で始めてはどうかという資料も付けて提案があった。

二、広げよう　そのほか

● 初心者「短歌教室」が新短歌クラブとして発足したことは、大きな喜びである。

● 「中学生と父親の学級」を何とかして開設までにこぎつけてほしい。

● 「伝統料理」「ガーデニング」「コケ玉教室」など地域性のあるいい企画なのでピーアールしてほしい。

● 地域に根ざした分館の活動をつづけ、広げたい。

公運審　アピール

病気の人に病院があるように、心を満たすために公民館があるということをアピールしたい。

地域色の濃い伝統文化や自然、この地で身に付けられる教養や知識、そして何より人と人とのつながりを公民館が果してきた役割は、公民館でしかできないことばかりです。

本当に一点集中の中身の濃い施設なのだから、この地で暮らす者の権利としても、足を運んでもらわなければならない。

これまでの公民館の足跡を今、改めて振り返ることと、盛り沢山の事業の中から「あなたの心を満たすものを見つけてください」と、広く強くアピールしたい。

「残され、続けられ、広められる」のは、最終的には、この町に住む人々によってしかできないのですから。

ちょこっと一言 (193)

小向　高野優子さん

「人」に「良」いもの、それが「食」

二〇〇九年に新潟で国体が開催されます。

私が今、スポーツ選手に栄養指導をしているのは、この国体で一人でも多くの県内の選手達が活躍してくれればいいなと思い、日々「食べないアスリートは勝てない！」と選手達に向かって言っています。

普段の生活でも同じです。サプリメントやプロテインに頼るのではなく、毎日の食生活が充分でなければ勉強もスポーツも同じで、集中力が発揮できずに不本意な結果に終わってしまいます。

食生活の乱れは急に始まるものではありません。小さいころからの蓄積によるものが大半です。その結果「生活習慣病」という病気になる大人が増えているわけです。

きちんと食べて、運動して、寝る、基本的なことができて健康な生活が送れるのではないでしょうか。

公民館情報

◎全館禁煙のお知らせ

中央公民館では、四月から「健康増進法」の施行に伴い受動喫煙の防止を徹底するため館内全館を禁煙とすることといたしました。

◎夜間の使用時間の変更

四月から、中央公民館の施設管理の徹底に伴い夜間の使用時間を午後九時二十分までといたします。

今後、時間厳守でよろしくお願いいたします。

利用者の皆様のご理解と、ご協力をお願いいたします。

職員が変わりました

事務補助(図書室)　高山ルリ子

初めまして。この度、四月から事務補助を勤めさせて戴く、高山です。微力ですが、せいいっぱい頑張ります。

図書だより

図書室などの利用案内

どなたでも気軽に「公民館図書室」や「ふれあい会館出張文庫」の本をより広く利用していただきたいので、次の通りご案内いたします。

○公民館図書室

開室時間　午前九時～午後五時
金曜日のみ夜七時～九時まで利用できます。
休室日　毎週木曜日、祝祭日
年末年始、他

○ふれあい会館出張文庫

開館時間　午前九時～午後五時
休館日　毎週月曜日、祝祭日
年末年始、他

※今年より一人五冊まで貸出致します。(期限　二週間)
※図書利用者の登録をし直します。ご迷惑をお掛けしますが再度登録をしてください。
※本のリクエストなどもお受けします。その際は係に、気軽に声を掛けてください。また不明な点などは公民館まで、お問合せください。

～花を愛し、人を愛し～
園芸農家を訪ねて

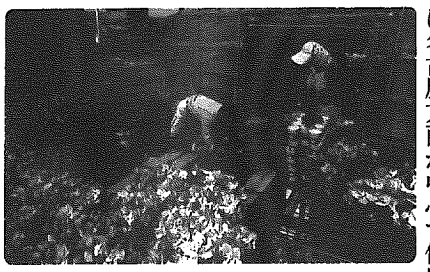
これから正に花と緑の季節です。そこで三月の某日、アザレアを主体として栽培されているウデコキのKさんを取材させて頂きました。

この時期は学校の卒業式や入学等で特にアザレアが人気で、出荷も多くなり、出荷先は名古屋方面が中心で他には東京等の市場に出荷されるそうです。

「短期間に多くの出荷で大変ですね」と聞いたら、以外にもアザレアの出荷時期は八月中旬から三月の末まで出荷され続けるとのこと。それは、まだ蕾の時期に大きな冷蔵庫に入れて開花の時期を調整しているとのことでした。

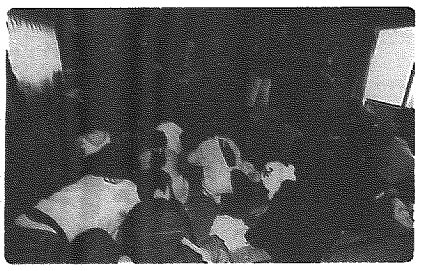
Kさんは「出荷のあとから、もう次の出荷の準備に追われ、夏は温度管理に気を使うし、手間がかかるんさ」とのことで、大変な作業だと思いました。

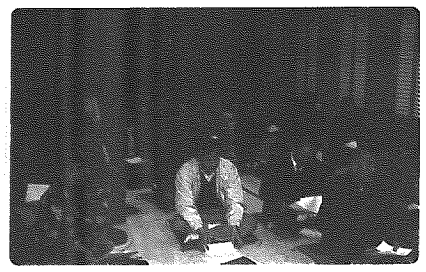
『花と緑の小須戸町』もこのように花を愛し、花を愛でる人を愛する心を胸に、日夜努力している園芸農家の皆さんのお陰だと、あらためて感じました。

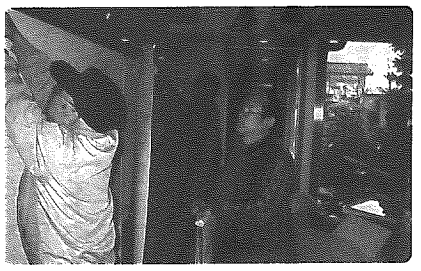

「花のプロ」花を愛する心が、あざやかな色になって咲きほこる…

ぶらっと カメラ散歩
『始まり』

3月から4月にかけて行われた活動・行事を紹介いたします。


「健康第一農作業のはじまり」
「は～い！こっち、こっち～！」ダンゴまき（竜玄）


「新年度のはじまり」みんな楽しく有効に公民館を使うための話し合い…


明るいロビーで作品も生える
～公民館ロビー展の始まり～

ふれあい電話相談

教育相談をはじめ、いろいろな電話相談に応じます。

◆五月の相談日
七日㈮・十四日㈮
二十一日㈮・二十八日㈮

◆受付時間
午後一時～五時

◆電話番号
三八―二三〇〇

◎お名前は、言わなくていいです。
◎秘密は、固く守ります。

声の広場
袖振り合うも多生の縁

この世の数知れぬ生物の中から人の身に生まれることは大変稀で「有ることは難しい」と言う意味で『有り難い』という感謝の言葉になったと聞かせて頂きました。

明治、昭和の大御代のはざまの大正十三年「きのえね」生まれの私たちは今年八十歳の年に当たります。

尋常小学校一年生の読本「ハナ・ハト・マメ・マス・ミノ・カサ・カラカサ」から私たちの社会生活が始まり、それぞれの人生を歩んで来ました。そして今、平等に与えられる傘寿を迎え陰ながら皆さんおめでとうございます、ご苦労様でしたと、ねぎらいたい。これも家族を始め社会の人々のお陰です。

私は春夏秋冬の美しい自然の中にあっても煩悩の醜さを晒け出して生きてきましたことを、この傘寿に免じて今までの無礼を勝手ながらご破算に願い上げます。

さあ、いよいよ老人の本番です。せっかく人間に産んで貰ったことを「有り難く」思い、残る人生を有意義に過ごしたいと思っております。

文京町二　東樹チヨ

会員を募集します

◎小須戸短歌クラブ
初心者の方、お気軽にどうぞ。
日時　五月十一日(火)発会式。毎月第一火曜日　午後七時半～九時十五分
会場　中央公民館
講師　仙田善雄氏(県歌人クラブ会長)
問合せ　中央公民館☎38―2234

◎川柳を始めませんか
小須戸川柳会では第一・三金曜日夜に、公民館で大塚一由先生を迎えて、例会をしております。初心者大歓迎です。きさくな勉強会です。
問合せ　高橋まで☎38―2465

◎親水緑地ラジオ体操の会
ラジオ体操とストレッチ体操で健康な体を作りましょう。
期間　五月～十一月頃までの毎週日曜日(雨天中止)
時間　朝六時二十分～七時位まで
場所　親水緑地公園内
問合せ　高山まで☎38―4681

スポーツ大会情報

老連「輪投げ大会」
三月七日(日)・小須戸小学校体育館・町内25チーム、165名余りが参加

《団体戦》
一位　矢代田三　二位　鎌倉A

《個人戦》
一位　加藤一栄(矢代田十二)
二位　星　和　(矢代田三)

《技能賞》
大貫巳三郎(新保)　吉沢久衛(鎌倉)

催し物ご案内

◎初心者展示教室
日時　六月九日(水)～七月十四日(水)　午後七時半～九時十五分(全七回)
会場　中央公民館(二階学習室)
対象　福祉に理解と情熱を持つ方
参加費　無料
講師　加茂ともしびの会々員他
申込み　五月二十五日(火)までに、中央公民館へ
主催　小須戸町中央公民館　町社会福祉協議会

仲間づくりと、学ぶことの楽しさをあなたもどうぞ…
初心者入門教室（町文化協会主催）

《初心者レクダンス教室》
楽しくて、思わずノリノリ！しらずしらずに健康万歳。
老若男女誰でもどうぞ。
期間　5月の第2火曜日から毎週火曜日　午前10時～正午
会場　中央公民館3階ホール　　定員　若干名・随時参加自由
主幹　レク・あじさい
問合せ先　高橋和子☎38―2355

《生け花教室》
ゆったりと心を静め、花に向かう至福のとき…
癒しの時間をあなたもどうぞ
日時　5月11日(火)・5月25日(火)　午後1時30分～3時30分〔全2回〕
会場　ふれあい会館　　会費　花代実費
定員　定めなし、どなたでもどうぞ　　主幹　生花クラブ・ふれあい(矢代田婦人学級)
問合せ先　城丸作恵☎38―3318

《初心者社交ダンス入門教室》
心はいつも青春、さわやかな楽しさは健康の秘訣です。
お気軽にどうぞ。
期間　5月11日(火)～7月6日(火)・7月10日(土)　午後7時30分～〔全10回〕
会場　中央公民館及び新保研修センター　　会費　1,000円（テキスト代）
定員　20名　　主幹　小須戸町社交ダンスクラブ
問合せ先　真梅三代吉☎38―2119

新潟メディアコミュニティ倶楽部のスタッフとしてボランティア参加の募集

故郷に愛着と誇りを持つ人々が過去の歴史、現代の方言、風景、人情、人々との動き等を音、動画、写真と共に記録し、現代に生きる世代がこれに学び、更なる地域の発展に寄与したいと、上記の団体が活動しています。賛同していただけるボランティアスタッフを募集しています。　問合せ先　小須戸町中央公民館

平成16年度「公民館ロビー展」

◎展示団体予定表◎

展示月	団体名
4月	拓本研究会
5月	風月会(かな書道)
6月	絵画クラブ 絵手紙を楽しむ会
7月	墨川会(水墨画)
8月	陶芸クラブ 陶芸サークル 楽窯会 押味会
9月	越美会 創風会（書道）
12月	写真クラブ
1月	俳句同好会 川柳会 俳句教室
2月	パンフラワー教室 花と緑と切り絵
3月	折り紙サークル

※「鳥風愛好会」は随時

シリーズ「今、子どもたちは」(91)
絵本と子供たち

最近の絵本ブームも手伝って、毎月第三土曜の『おはなしのせかいへ』に来てくれる子供たちが徐々に増えてきています。

ひざをかかえて座り、目をキラキラ輝かせて聞いてくれる子供たちを見ると、うれしい気持ちで一杯になります。

怖いお話では、怖いものの正体がだんだん明らかになると、もうドキドキが聞こえてきそうです。最後の「おまえをとって食いに！」で、みんなビクッとします。純粋に、お話に入りこんでいる子供たちの姿が見える瞬間です。

自分で本を読めるようになっても、誰かに読んでもらう方が、お話の世界にすっと入って行けます。

このワクワク感をあなたも味わってみませんか？

おはなしぽけっと

大きな目で聞いている。ドキドキが聞こえそう～

文芸欄

句

浅き春ぐらりと池の鯉動く　坂井隆思
猫の恋境内の闇動きけり　丸山虚秋
白鳥の着水滑降つつがなし　馬場綾子
残雪の底に水音雑木山　吉澤文子
母の忌を妻は忘れず春障子　中野太浪
初御空橙色にひろがれり　藤井ハルエ
早春の瓦新らし寺の屋根　井本松子
木瓜展の木瓜抱かれくる出入口　東樹ちよ
杜隅み名残雪ありたわむれ児　中野雅世

俳

手厳しいナースと泣いた退院日　渡邊信子
下積みに耐えて掴んだ今の幸　栗原ひさし
厳しさを招く不況に底が無い　保科一路
父よりも母は厳しい目で諭す　我妻清作

川柳
（題：厳しい）

催し物ご案内

◎ほほえみ作業所作品展
「美と癒しの屋台村」の中で、みなさまとお会いしたいと思います。ぜひ、遊びに来てください。
日時　四月二十四日(土)～二十五日(日)　午前十時～午後七時
会場　三条パルム店・四階（三条市神明一ノ一）
内容　根つけポプリ・さをり織り等を展示